



住む人に誇りを、訪れる人に感動を  
長崎と天草地方の  
潜伏キリシタン関連遺産

『長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産』世界遺産登録決定記念事業



# 藝大フィルハーモニア管弦楽団 世界遺産登録記念演奏会



## 第1部

～ オーケストラの醍醐味 ～

ベートーヴェン 序曲「コリオラン」作品62

ベートーヴェン 交響曲第5番 八短調 作品67「運命」

## 第2部

～ 独奏の魅惑 ～

モーツァルト ホルン協奏曲第4番 変ホ長調 K. 495  
ホルン独奏 日高剛

～ 合唱団とともに ～

モーツァルト モテット「アヴェ・ヴェルム・コルプス」K. 618

杉本竜一 BELIEVE

高木愛子 蒼き故郷

ホルン独奏 日高剛

指揮 現田茂夫

©K.Miura

管弦楽 | 藝大フィルハーモニア管弦楽団

合唱 | 『長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産』世界遺産登録記念合唱団(合唱指揮 松川暢男)

2018年 11月23日(金・祝) 13時30分開演(13時開場)

福江文化会館 大ホール(全席自由)

入場料 一般 1,000円(税込) 高校生以下 無料

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※託児室(乳児不可)をご用意しておりますが、事前予約が必要です。詳しくは市政企画課までお問い合わせください。

前売券販売先(10月5日より発売開始)

- ・(有)光洋楽器・山口商会・福江文化会館・市役所売店
- ・(一社)五島市観光協会(福江港1階売店)
- ・奈留インフォメーションセンター(奈留港)

主催 五島市、五島市世界遺産登録推進協議会

後援 長崎県、長崎県教育委員会

お問合せ 五島市総務企画部政策企画課 TEL 0959-72-6782

## 『長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産』世界遺産登録記念オーケストラ演奏にあたって

この度、『長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産』の世界遺産登録決定記念にあたり、我が国における芸術系の最高学府である東京藝術大学のご協力のもと、日本で最初の本格的オーケストラである「藝大フィルハーモニア管弦楽団」の演奏が決定いたしました。

主な演奏曲は、ベートーヴェンの『運命』ですが、あまりにも有名なこの曲には、「過酷な運命とそれを克服する意志の勝利」という文脈が流れております。このことは、250年もの間、自らの信仰を密かに継続し、弾圧・迫害にも屈せず、信仰の自由を手にした潜伏キリシタンの信仰のあり方と共通するものではないかと思えます。

また、地元合唱団との共演曲についても、『潜伏キリシタン関連遺産』のテーマに合わせた楽曲やこれからの郷土『五島』への思いを感じさせる楽曲となっております。

潜伏キリシタンの信仰のあり方に思いを寄せながら、一流の演奏を鑑賞頂ければと思います。



(奈留)



(福江)

### 指揮 現田 茂夫



©K.Miura

東京生まれ。東京音楽大学作曲指揮専攻(指揮)で汐澤安彦、三石精一両氏に師事。その後東京藝術大学で佐藤功太郎、遠藤雅古両氏に師事。1985年安宅賞受賞。1986年二期会オペラ「ヘンゼルとグレーテル」でオペラ・デビュー後、「こうもり」等で二期会オペラで活躍する一方、オーケストラコンサートでも実績を積む。1987年、新星日本交響楽団指揮者に就任。1988年来日中のドレスデン・フィルに客演。1990年新星日響とヨーロツパ演奏旅行。同年ウィーン国立歌劇場に国費留学。1991年スロヴァキア・フィルに客演。1992年プラハ国立歌劇場日本公演の指揮者として客演。同年プラハ交響楽団の定期公演に初登場し、翌年「プラハの春」での「佐藤しのぶリサイタル」は、センセーショナルにヨーロツパで放送された。

### ホルン独奏 日高 剛



宮崎市出身。長崎大学経済学部を卒業後、東京藝術大学にてホルンを学ぶ。1996年よりオランダ・マーストリヒト音楽院に留学。ホルンをE.ペンツェル、W.サンダース、守山光三、山田眞、田原泰徳の各氏に師事。帰国後、2000年広島交響楽団に入団。その後、日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団を経て、2005年NHK交響楽団入団。2013年まで同団ホルン奏者を務めた。ホルンアンサンブル「つの笛集団」、The Horn Quartet メンバー。邦楽器や美術とのコラボレーションといった多彩な演奏活動を展開するほか、全国各地でワークショップを行うなど、後進の育成にも力を注いでいる。2013年4月より東京藝術大学准教授。洗足学園音楽大学客員教授、国立音楽大学非常勤講師も務める。

日高剛ホームページ <http://hidaka.conmoto.jp>

### 藝大フィルハーモニア管弦楽団

東京藝術大学に所属するプロフェッショナル・オーケストラで、年2回の定期演奏会、声楽科との合唱定期、オペラ研究部との共演、新卒業生(各科最優秀者)の紹介演奏のほか、年末恒例の「メサイア演奏会」、「第九公演」などを行っている。教育面では、器楽科・声楽科学生との協奏曲等の共演および作曲科学生作品演奏(モーニング・コンサート)、指揮科学生による演奏会・試験・演習など、学生の演奏経験の拡充に資している。前身である東京音楽学校管弦楽団は、我が国初の本格的なオーケストラで、ベートーヴェンの《交響曲第5番「運命」》、《交響曲第9番「合唱付き」》、チャイコフスキーの《交響曲第6番「悲愴」》などに加え、ブルックナーの《交響曲第7番》と《交響曲第9番》を本邦初演し、日本の音楽会の礎石としての活動を果たしてきた。2017年6月には初の海外公演として「日智(チリ)修好120周年」を記念したチリ公演(4公演)を行い、聴衆を魅了した。(公社)日本オーケストラ連盟準会員。

